

7 年 月 日

浜田市議会議長 様

議員名

半尾昭

研 修 受 講 報 告 書

下記のとおり研修を受講したので報告します。

記

1. 研修名

決算審査直前特別集中セミナー

2. 受講の目的 (市政との関連など)

決算の理解。

3. 期間 (移動日を含む)

令和7年7月29日(火) ~ 令和7年7月30日(水)

4. 経費 11,440 - 円

(経費内訳 受講料 11,000 円 、旅費 440 円)

5. 研修のポイント・議員活動や市政への反映など

議長及び執行部の現職 鈴木重昭の生きた経験談。

6. 研修内容

(詳細は別紙のとおり)



「決算審査直前特別集中セミナー心構えから知っておくべきポイントまで」

2025年7月29日～30日

挨拶：鈴木あや子：マニフェスト連盟共同代表

講師：川上文浩氏：可児市監査委員

第一部、氏は現在、5期目で在職18年目である。

かつて18年前は、予算決算委員会には、自民党は出ず共産党と公明党だけであった。これではいけないと言う事で、現在は、8月22日～9月いっぱい迄徹底的にやっている。

可児市の予算決算委員会は、議長と監査を除く規定である。

＊執行部評価の上で議会が評価する。

＊決算審査による予算編成への提言。

＊地方交付税のチェック—多分判らない。

＊学校監査—現場監査—簿外帳簿がある。

＊学校監査—寄付金（現金）チェック—入金すべき。

第二部、議会と話そう—決算の様子を報告。

①不納欠損の％②収納率（差押え件数）

＊監査委員から見た決算審査

①財政指標②有収率③収納率④全体収支⑤自主財源・依存財源の詳細比率⑥投資的経費比率の推移⑦市債⑧基金（運用は60%）⑨不用額⑩寄付金（ふるさと納税）⑪不納欠損額⑫歳出の構成・歳入の構成⑬いじめや不登校⑭残業・時間外

*基金運用は60%まで。20年物は金利2%を超える。

*運用状況について聞く。

*サービス残業・仕事の持ち帰り—管理は誰か？

二日目、7月30日、川上文浩氏。

昨日の振り返り—丁寧な委員会審査。

*給付金があれば、その対応と時間外はどうであったか。

*繰り越し明許費—例月出納検査

余談—可児市の常任委員会は、絶大な権限を持ち、委員長は絶対である。—従って、議運には各常任委員長が入る。議会の流れを決める議運に常任委員長がいなければ意味がない。

このあと、可児市のやり方を学ぶ。大勢の議員から質疑あり。考察、理想的な決算審査は、執行部の事務事業評価に対して議員サイドの事務事業評価を照らし合わせ、さらに深堀をす

ることが、理想的であるとの見解を得た。

以上報告します。牛尾昭。